

日越共同イニシアティブ第7フェーズ最終評価会合(梅田大使挨拶)
2019年12月12日(木)

- グエン・チー・ズン ベトナム計画投資大臣
- ベトナム関係省庁の皆様

- まず始めに、本フェーズへの評価を述べます。本日の成果を得るため、9つのワーキングチームの皆さまに多大なご尽力をいただいたことにつき、感謝申し上げます。
- 第7フェーズの進捗率は85%であり、前回の第6フェーズの81%より上昇しました。
- これはひとえに、日本側、ベトナム関係省庁の皆様のご協力の賜物であり、日越の連携を高く評価いたします。

- 次に、次期フェーズへの期待を述べます。先ほどズン大臣が述べられたように、具体的な行動に結びつけることが何よりも大切であると考えます。
- その際には、第7フェーズの積み残しをフォローアップしていくとともに、昨今の情勢を踏まえ、次の3点を念頭においていただくことを期待します。
- 第一に、ベトナムでは、残念ながら、過去に約束した「投資インセンティブ」が一方的にキャンセルされるケースが生じました。今年、ハイフオンの経済特区で20社以上の日本企業が影響を受けました。
- 安定的かつ継続的に外国企業からの投資を呼び込むには、法令も安定性と予見可能性を持つことが必要です。一方的キャンセルといった事態が再発しないよう、強く期待します。大使として、

ベトナムへの投資を呼びかけることができなくなります。

- 第二に、10月、ムーディーズが、ベトナムの格付け(Ba3)を引き下げる方向で見直すと発表しました。
- その理由として、ムーディーズは、①政府債務への支払い遅延の発生、②政府の決定のあいまいさ、③政府の様々な機関の間の調整不足を挙げています。
- ムーディーズがベトナムの格付けを下げる事が無いよう、ベトナム関係省庁の皆様には、ムーディーズが指摘している問題点を是正されることを心より期待します。
- 第三に、ベトナム経済の成長にとって、インフラ整備は不可欠です。この観点から、PPP法案について、ベトナム政府内に様々な意見があると承知していますが、是非日本を含む外国企業の声をよく聞いていただきたいと思えます。
- 次に、ズン大臣への感謝を申し上げます。2017年以降、ODA分野を中心に難しい問題が積み重なりました。しかしながら、ズン大臣をはじめとする計画投資省及び関係省庁の皆さまのご尽力により、約2年半実施できなかった新規円借款プロジェクトが再開され、また、無償資金協力等の問題も解決され、ODA関連業務はほぼ正常化されました。
- また、投資に関しても様々な問題が発生していましたが、この1年半で80件以上の日本企業関連の案件で解決あるいは進展がみられました。その過程において、首相府及び計画投資省の皆さまのご協力に感謝致します。
- 最後に、日本にとってのベトナムの重要性を申し上げます。現在のベトナムは、経済成長のエネルギーに満ち満ちており、大きく飛躍する歴史的チャンスを迎えています。我々は、ベトナムがこの歴史的チャンスを活かして、より強い国となることが、東アジア

地域全体の安定と繁栄にとって極めて重要であると認識しているとともに、人材育成等様々な分野で取組の具体化が図れるよう、日本はベトナムとの連携をより強化したいと考えます。

- そのような観点から、日本としては本イニシアティブが果たす役割は大きく、是非継続していただきたいと考えています。本イニシアティブを通じて、日本がベトナムの発展に引き続き少しでも貢献できるよう努力したいと思います。今後とも、日越双方が様々な知見を活用し、関係者全員の活発な意見交換を通じて様々な課題に取り組んでいくことを期待します。
- 最後に、皆様の御健勝、日越関係の益々の深化を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(了)